

議長（志村 忠昭）

これをもって、2番塩野議員の質問は終わります。

次に11番、渡邊美喜子君。

議員（渡邊 美喜子）

おはようございます。11番、渡邊美喜子でございます。

一般質問させていただきます。

1点目は幼稚園、小学校、中学校の空調設備の設置についてであります。

空調設備の設置必要性は、夏の暑さの上昇傾向にあり、6月～9月の30度を超える日数は増加しております。

例えば2012年、6月の最高温度は30.5度、7月は35.5度、8月は36.2度、9月は34.2度であります。

2013年は、6月の最高温度は27.1度、7月は35.1度、8月は37.1度、9月は32.2度でございます。

近年の平均気温は体温を超える場合も珍しくありません。

猛暑による児童生徒の体調管理が心配される状況の中、保護者の方からも設置の要望が強まっています。

また子ども議会におきましても、生徒達から「暑くて勉強に集中ができない是非とも設置をしてほしい」など今までに2回ほど空調設備設置について一般質問があったと記憶しております。

香川県の小中の普通教室の教室の数は3,573、空調設備の整った教室の数は2,893で81.0%に達しています。

幼稚園は保育室が518、設置の室数は465で89.8%です。

また近隣の学校施設の空調設備の設置状況を調べて見ますと、善通寺市、観音寺市、丸亀市、三豊市、琴平町、綾川町、宇多津町、まんのう町は100%設置していました。

高松市は24年度から3ヵ年計画で整備を進めています。

これまでに小学校28校、中学校12校の整備を終え、26年には残りの小学校15校、中学校6校の整備を行い、29年度には全ての小中学校での空調設備が完了予定でございます。

この様に殆どの学校が設置されております。

教育環境の学校施設に格差があっては許されない。

教育環境の整備は、次世代を担う子どもたちに夢や希望を育み、強い心と優しい心を養うためにも、よりよい学習環境づくりが大切だと考えます。

その上、学校は広域避難所でもあります。

多度津町も財政事情もあると思いますが交付金を活用して空調設備を実施する時期にきているのではないのでしょうか。

交付金の算定割合は1/3で対象工事費は下限額が400万円、上限額が2億円となっています。

そこで幼稚園、小学校、中学校の全教室への空調設備設置には、どのくらいの予算が必要なのでしょう。

また今後の町の方針や考えをお伺いします。

2点目は昨年12月の定例会におきまして白方小学校の改築、(1年生～5年生の教室が老朽化のため耐震工事が不可)について一般質問をさせていただきました。

ご答弁につきましては町長から「学校の耐震化は子どもの安全、命を守ることが喫緊の課題であり、改築方法を含めた費用対効果を町全体の財政動向を見極める中で早急に協議してまいります」と前向きな方向を示して頂きました。

多くの町民の皆さんからは「子どもの命を守ることが最優先、本当に良かった」など大きな反響がありました。

一般質問から6カ月しか経過はしていませんが、喫緊の課題として今後の計画についてお伺い致します。

3点目は介護保険制度についてであります。

介護保険制度の見直しについて質問いたします。

①要支援1,2に対する予防給付のヘルパー(訪問介護)とデイサービス(通所介護)を市町村の地域支援事業と移行するとありますが、今までの介護予防との異なる点や今後の課題について。

②一定所得以上の人を対象にした自己負担額2割の導入となり、厚労省案では年金収入280万若しくは290万となっており、医療保険383万より低く設定されています。

その折の2割導入の数や又影響についてお伺いします。

③特別養護老人ホームの入所者要件は要介護3以上で、そうなると、要介護1,2の対応や影響についてお伺いします。

④介護難民対策について

⑤介護従事者の人材不足についてお伺い致します
以上であります。

よろしくお願ひ致します。

町長(丸尾 幸雄)

渡邊美喜子議員のご質問のうち、「白方小学校の改築について」お答えしてまいります。

本町の教育施設の耐震化につきましては、本年度で四箇幼稚園が終了予定ですので、改築中の多中を除いて耐震化が完了していないのが、白方小学校の教室棟のみとなっております。

白方小の改築につきましては、重点課題の一つとして協議し、関係各課による「改築検討委員会」を組織し、本年度において基本構想をまとめ、平成 27 年度実施設計、平成 28 年度工事着工、平成 29 年度旧校舎解体を目標に進めていきたいと考えておりますので、後日議会の皆様にもご相談申し上げるつもりです。

また、喫緊の課題として、大地震に備えて、四つの小学校体育館の吊り天井撤去とそれに伴う天井整備の必要性が起きてきました。

白方小体育館の天井整備は豊原小と共に平成 27 年度に行いたいと考えております。

校舎建て替えとの同時着工は工事のスペースが確保が出来なくなり、子どもたちの安全を担保にすることが困難と考え、白方小の体育館工事の後に教室棟の改築を考えてまいりたいと思っております。

ご理解賜りますようお願いを申し上げ、その他のご質問に対しましては教育長を始め各担当課長より答弁をしてみたいと思いますのでよろしくお願いを致します。

教育長（田尾 勝）

渡辺議員の 1 点目「幼稚園・小学校・中学校の空調設備の設置」についてのご質問にお答えします。

まず設置費用についてであります。中学校につきましては、本年度末に完成いたします新校舎において、完備いたしますので、幼稚園・小学校の全教室 138 教室に設置する場合の費用であります。近隣の学校におけるエアコン設置にかかる費用を参考にすると、おおよそ 1 教室あたりの費用が 250 万円ほどと仮定され、それをもとに試算すれば、約 3 億 5 千万円が必要となります。

また、今後の「町の方針・考え方」についてであります。先ほども答弁いたしました。幼稚園・小学校・中学校は災害時の住民の避難先ともなっていること、今新聞に大気汚染の原因の一つとして掲載されている PM2.5 微小粒子状物質の児童・生徒への影響を考えるなか、教育課の重点施策の一つとして幼稚園・小学校・中学校の空調設備設置について考え、その結果、全園児が集え、また保健室的な役割も果たすことが考えられる幼稚園の遊戯室への設置を検討することになりました。

小学校については、先ほども申しましたように、予算との兼ね合い、また町内の小学校の教育環境における特徴も勘案しながら、従来からお話しさせていただいている児童の健康な体力づくりと快適な教育環境のあり方を真摯に探るなかで、検討してまいりたいと考えております。

なお、随時ご報告させていただきますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申しあげ答弁とさせていただきます。

福祉保健課長（山下 俊和）

おはようございます。

渡辺議員の「介護保険制度の見直し」について、お答えいたします。

平成 25 年 12 月 5 日に成立しました「持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革の推進に関する法律」により、平成 26 年度に介護保険制度見直しに必要な法律を国会に提出するため、厚生労働省社会保障審議会介護保険部会において、ご質問にありますような事項が現在、審議、検討をされている状況であります。

よってまだ、検討中で詳しい内容まで明らかになっておりませんので、分かる範囲でお答えをさせていただきます。

まず、介護認定の要支援 1, 2 の方に対する介護予防給付の訪問介護、及び通所介護の地域支援事業への移行による従来との違いと課題ということですが、訪問介護、及び通所介護だけのサービスを利用されている方にとっては、従来、作成していた地域包括支援センターのケアプランの形態が変わってくるものと思われま。

また、サービスの上限枠の基準がまだ明らかになっておりませんので、従来、受けていたサービス量が確保できるかどうか、その辺りが懸念されるところで。

保険者としては、費用の負担割合が明らかになっておりませんが、場合によっては一般会計の負担増が懸念されると考えられます。

次に、一定所得以上の方に対する介護サービス利用料の 2 割負担の人数やその影響ですが、年金収入単身で 280 万、夫婦世帯で 359 万以上の案が現在示されておりま。

多度津町においては、本年 4 月時点で介護サービスを利用されている方が約 980 人、その内所得 160 万以上の方、これは年金収入でいきますと 280 万以上の方になりますが、130 人となっております。

率にすると約 13%となります。

また、影響として、当然利用料が 2 倍になるということですが、利用料上限額に達している方は、高額介護サービスの基準が、37,200 円から 44,400 円の案が示されておりまので、月に 7,200 円の増になると考えられます。

次に、特別養護老人ホームの入所要件が要介護 1 以上から、3 以上になることについては、現在、入所している方は経過措置として継続入所が認められていることが考えられており、また、要介護 1・2 であっても、やむを得ない事情により、特別養護老人ホーム以外での生活が著しく困難であると認められる場合には、市町村の適切な関与の下、特例的に入所を認めることが検討されており、これらが実施をされれば、入所要件の変更の影響は小さいと考えておりま。

す。

次に、介護難民対策ということですが、今回の制度見直しの中で、地域包括支援センターの機能強化ということが検討をされており、地域包括支援センターの相談事業を更に充実させることにより、支援を必要とする高齢者に対し介護サービスへ繋げていきたいと考えております。

また、特別養護老人ホーム入所の待機者については、施設への申し込み数から重複申し込み数や必要度等を考慮した最終的な人数は、現在、約 20 名と推計しております。

現在、町の被保険者の内 119 人の方が町内及び町外の特別養護老人ホームに入所をされておりますが、町内の特別養護老人ホームは現在 130 床あります。

建替中であります桃陵苑は、竣工後 10 床増床の予定であります。

これらの状況や平成 24 年度から 25 年度にかけて竣工した町内のサービス付き高齢者向け住宅 52 床を踏まえ、特別養護老人ホームの今後の在り方は、現在、策定中の第 6 次介護保険事業計画の中で検討して参りたいと考えております。

次に、介護従事者の人材不足の対策、この点については町レベルだけで考えることはできません。

厚生労働省 社会保障審議会 介護保険部会の中で、そのことが検討されており、国は、介護報酬改定を通じた処遇改善の取組の推進、法人の枠を超えた人事交流の推進などのステップアップを促すキャリアパス制度の確立に向けた取組の推進を図り、都道府県は、介護保険事業支援計画を活用しつつ、人材確保に向けた様々な取組の推進を図り、市町村は、必要性が高まる生活支援サービスの担い手を育成・確保するとともに研修を実施することが求められております。

そういった点から、町としては、市町村の役割を果たすことにより、介護従事者の人材不足の対策としたいと考えております。

以上、よろしくご理解いただきますようお願い申し上げ、渡辺議員の質問に対する答弁とさせていただきます。

議長（志村 忠昭）

以上で、渡辺議員の一般質問に対する答弁は、町長、教育長、担当課長からありましたが、渡辺議員、再質問があればお受けいたします。

議員（渡邊 美喜子）

詳細なご答弁、本当にありがとうございます。

白方小学校の改築に向けての本当に何年には何をする、着工は何年度にするということで、皆さん地域全体で期待しているというよりも、多度津町全部で子ども達を守るといふ部分で期待しておりますので、本当に有難いと思っております。

それからエアコンにつきましては、実はですね、以前に署名運動もされたと聞いておりますし、最近になって特に保護者の方から要望が多くあります。そういう部分で今回、財政は大変中学校、それから消防もしている上に白方小学校の改築となったら、大変だという部分も全て分かっているんですけども、要望として、子ども達の健康状態、以前とはだいぶ温度も違いますので、そういう部分も含めて今回は質問をさせていただいたのです。

急に何もかもするのは大変だと思います。

例えば3ヵ年計画とか、そういう部分も含めてしていけばいいのではないかなというふうに思ったりもしました。

今のご答弁の中で138教室ですか、そして250万ということで3億5,000万、それと交付金という部分で今ざっと計算したのですが、約2億円掛かるといふ計算にアバウトなのですが、なろうかと思います。

なかなか大変だと思いますが、何年計画ということでしていけば、特に中学校がエアコンがつく、低学年、幼稚園、小学校の年齢的にも体力的にもまだ中学生よりは低下という部分がありますので、そういう部分も含めて幼稚園からお遊戯室と話もできていますが、徐々にしていって頂きたいなという、これ要望というより何ヵ年計画とかそういう部分にはならないのでしょうか。

再質問であります。

それから、介護保険なんですけども、まだ決まってないような状況の中で詳しく答弁して頂きました。

有難く思っております。

そこで多度津町の高齢化も進みますので、そういう点を含みまして、よく住民の皆様から相談があります。

要望というより、介護保険とかそういう部分については、相談があります。

そして地域包括支援センターの中に相談室を設けて頂きました。

あれはすごく良かったな、プライバシーもしっかり守られていますので、良かったなと思いますし、また地域包括支援センター、本当によく電話を入れるんですけども、即現場の方へ行って頂いて、何日といううちに的確に支持して頂いてるという部分に関しまして、有難く思っておりますので、また、今後ともよろしくお願ひしたいと思ひます。

終わります。

1点目の方、よろしくお願ひ致します。

教育長（田尾 勝）

渡邊議員の再質問で、エアコン設置について計画的な配置するための計画というのですか、そういうのを設定したらどうかというご提案があったのですが、今現在は検討はまだしていません。

また予算等の問題とかいうことも考えていかなければならないし、またこの後、なかには出ていなかったんですけども、小学校の大型改修とかそういう事も間近に迫ってきているのではないかと私は思っていますので、そういう事も含めて検討していかなければならないというのが一つです。

それともう 1 点ですけど、子どもの健康という、もう一方では渡邊議員さんが書かれているように気温が高くなっているということがあるわけで、学校の在り方で、その為に今現在は日本の夏は暑いわけで、今現在は夏休みを 7 月の下旬から 8 月にしたりして、暑さを凌ぐために仕組みはすでにあるわけで、その辺りももしかすれば検討のことにも素材にもなるのかなというように思っています。

ソフト面でも考えていかなければならないことがあるのではないかなというふうに思います。

以上、これからどうするという事はまだこの段階では言えませんけれども、考えを述べさせていただきました。

以上です。

町長（丸尾 幸雄）

渡邊美喜子議員のエアコンの設置について、今田尾教育長が十分ご説明を致しましたけども、少し補足の説明をさせて頂きたいと思います。

今渡邊議員の方から 3 年計画とかそういうことで策定できないかということがありました。まず私どもは今喫緊にやらなければいけないことがあります。

それは耐震補強工事、白方小学校の学習棟も含めた耐震補強工事、それから先程も申しました吊り天井の撤去と天井の整備、これは子ども達の命にかかわることになりますので、まずこの命にかかわることを除いていくこと、そういう施設を完成していくこと、これがまず第 1 番だと考えておりますので、その後、今議員さんがおっしゃったようなことも検討させて頂きたいと思えます。

今田尾教育長が申しあげましたように、今のこの時点では、ご返答できないのが現状でありますので、ご理解を賜りたいと思います。

議長（志村 忠昭）

再質問に対する答弁は、終わりましたが、渡邊議員、再々質問があればお受けいたします。

議員（渡邊 美喜子）

ありがとうございます。

議長（志村 忠昭）

これをもって、11 番渡邊議員の質問を終わります。

ここで休憩に入ります。

15分ほど休憩致しますので、10時55分再開いたします。